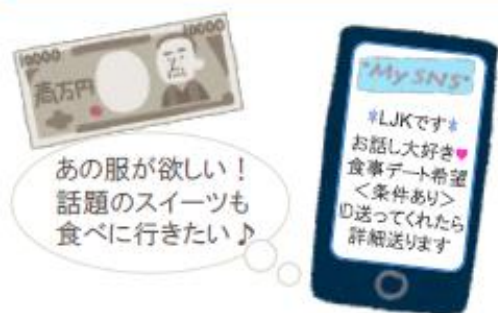


## コミュニティサイトなどでの未成年によるアプローチ ～インターネットトラブル事例集より～



デートや食事だけで金銭的支援をしてくれる人との交際活動を「パパ活（ママ活）」と呼び、SNSを使って援助交際よりも軽い気持ちで相手を募集する人がいます。簡単な気持ちでお小遣い稼ぎをしたり、見知らぬ人に会ってはいけません。こういった行為は、児童買春、薬物投与、誘拐、ストーカー、恐喝などの犯罪被害にあうケースもあり大変危険です。

### お小遣いをもらうために投稿したら



※LJKは「ラスト女子高生（高校3年生）」を指す隠語

欲しいものがたくさんあるさんは、お小遣い稼ぎに軽い気持ちで「パパ活相手募集」のメッセージをSNSに投稿し、食事に行くことになりました。

### 連れて行かれそうになった



食後気分が悪くなり、急に眠くなって…異変に気づいた店員に助けられました。さんの離席中、パパ活相手が睡眠薬を飲み物に入れたことが原因でした。

### ★考えてみよう！

#### ○危険な書き込みがもたらすもの

上の例は、不幸中の幸いです。あなたの書き込みが、自分の身を危険にさらす行為だということを肝に銘じる必要があります。

パパ活の相手は、何を考えているかわかりません。あなたの命を奪おうと考えている人もいるかもしれません。

#### ○一呼吸置いて落ち着き、保護者に相談しましょう

何かを欲しい欲求を上手にコントロールするには、一呼吸置くことが有効です。深追いせずに、一呼吸置いたうえで、どうしてもその物が必要な時は、保護者に相談して家の手伝いや長期休暇のバイト行方など、安全な解決策を考えましょう。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2022年度版）」

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)